



保坂 悟
議員

子育て支援に ついては

子どもの医療費助成 対象枠の拡大は

質問

病児・病後児保育の検討結果及び子どもの医療費助成対象枠の拡大について伺う。

市長答弁

病児・病後児保育については、提供する保育内容等の特殊性から、実施主体も含め非常に課題が多いものであるが、現在、策定中の次世代育成支援行動計画の中で引き続き検討していく。
子どもの医療費助成対象の



野本 信行
議員

重要課題に対する 具体的な取り組みは

計画変更を余儀なくされた案件の基本方針は

質問

健康づくりセンター建設のうち、見送りになったプール、子育て支援センターの建設計画及び糸魚川駅赤レンガ車庫

の活用について伺う。

市長答弁

健康づくりセンターのプールと子育て支援センターについては、中期財政見直しにより整備を見送ったが、プールについては、市内プールの利用状況を見て検討したい。ま

拡大については、県は、本年9月から通院費助成を拡充し、3子以上を有する場合、小学校3年生以下の子全員を対象とすることとしており、市も準備を進めている。

糸魚川版グリーン・ ニューディール政策 によるまちづくりは

質問

森林整備の必要性と森林資源（間伐材）の活用策及び太

陽光発電の普及と活用策について伺う。

市長答弁

森林整備の必要性と森林資源（間伐材）の活用策については、今日の地球温暖化防止対策の一環として、森林の持つ二酸化炭素吸収源としての役割を活かした低炭素社会づくりのためには、森林整備は欠かせないものと考えている。また、森林施業により搬出される間伐材は、柱材、合板材、チップ材として活用されている。
発電については、住宅用の

ンガ車庫のイメージを生かすことを検討していきたい。

市財政運営の 健全化策推進は

質問

今後4年間の実質公債費比率などの4指標の予測推移について伺う。

市長答弁

4指標の予測について、一番重要である実質公債費比率

太陽光発電の設置に対する補助制度を設け、平成17年度から20年度にかけて35件の利用があった。今年度からは、国と市の補助制度が併用可能となったので、制度の周知と普及に努めている。

《その他質問項目》

- ・女性特有のがん検診推進事業
- ・合併課題解決と議員定数と議員報酬

については20年度決算数値による推計値は17.2、21年度17.2、22年度17.5、23年度18.0となっている。

